

令和2年度（2020年度） 商工会等事業変更概要書（4回目以降）

吹田商工会議所

（単位：円）

1. 事業変更一覧

変更区分	事業区分	事業名	変更の理由	補助金額
変更	地域活性化事業	北大阪健康医療都市・ライフサイエンス振興事業	現状の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、今後の当事業実施について実地開催が困難と判断される可能性も高いと考えられる。そのことから、講演会開催について実地開催とオンライン開催の両方で参加者を募集し、場合によってはオンライン開催のみの変更を柔軟に行えるようにする。以上の変更により、事業実施可能性を高めることを理由とする。	0

※変更区分には、「追加」、「廃止」、「変更」、「未実施」のいずれかを選択してください。

2. 経費支出概要書（経費内訳）
 (1) 経営相談支援事業

吹田商工会議所
 (単位：円)

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	381	9,525,000		381	9,525,000		0	
支援機関等へのつなぎ	20	200,000		20	200,000		0	
金融支援（紹介型）	80	2,400,000		80	2,400,000		0	
金融支援（経営指導型）	80	3,200,000		80	3,200,000		0	
マル経融資等の返済条件緩和支援	3	60,000		3	60,000		0	
資金繰り計画作成支援	10	200,000		10	200,000		0	
記帳支援	15	375,000		15	375,000		0	
労務支援	15	300,000		15	300,000		0	
人材育成計画作成支援	0	0		0	0		0	
マーケティング力向上支援	15	300,000		15	300,000		0	
販路開拓支援	30	600,000		30	600,000		0	
事業計画作成支援	100	5,000,000		100	5,000,000		0	
創業支援	20	400,000		20	400,000		0	
事業継続計画(BCP)作成支援	5	100,000		5	100,000		0	
コスト削減計画作成支援	3	60,000		3	60,000		0	
財務分析支援	20	200,000		20	200,000		0	
5S支援	0	0		0	0		0	
IT化支援	25	500,000		25	500,000		0	
債権保全計画作成支援	3	30,000		3	30,000		0	
事業承継支援	10	200,000		10	200,000		0	
災害時対応支援	0	0		0	0		0	
フォローアップ支援	80	400,000		80	400,000		0	
結果報告	375	3,750,000		375	3,750,000		0	
小 計	—	27,800,000	27,779,600	—	27,800,000	27,779,600	0	0

(2) 専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
金融相談専門員	61	1,464,000		61	1,464,000		0	
	0	0		0	0		0	
	0	0		0	0		0	
	0	0		0	0		0	
	0	0		0	0		0	
小 計	—	1,464,000	1,464,000	—	1,464,000	1,464,000	0	0

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

(3) 地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	9,199,800	別紙事業調書【変更後】のとおり	9,199,800		0

(4) 商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計						0

(5) 合計

	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
申請合計		38,443,400		38,443,400		0

事業名		北大阪健康医療都市・ライフサイエンス振興事業		新規/継続	継続
想定する実施期間		18 年度～	年度まで	<input type="radio"/>	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>北大阪健康医療都市(通称:健都)のまちづくりは、平成30年11月に駅前の複合施設(VIERRA岸辺健都)の開業、同年12月に吹田市立吹田市民病院の移転開院、昨年7月には健都の中核となる国立循環器病研究センターの移転により本格的に稼働を始めた。今後は医療クラスター形成に向け、健康・医療関連企業の集積と地域企業にとってのビジネスチャンスの拡大を図るソフト面の取り組みの充実がより求められる。吹田商工会議所並びに摂津市商工会では、長期的な視点に立って、健都におけるライフサイエンス分野の振興への取り組みを進めていく。</p> <p>健都の産学官連携拠点となる健都イノベーションパークにおいては、フラッグシップ企業となる事業者が決定し、進出計画の概要を地域企業に説明いただく機会を持った。既に国立健康・栄養研究所の進出も決まっている。また、拠点内アライアンス棟の整備・運営を行う事業者としてJR西日本不動産開発(株)や京都リサーチパーク(株)が決定し、民間事業者とのオープンイノベーションを加速するための整備が進んでいる。今回は、健康づくりのための食や運動等にかかわる分野の研究成果の紹介とJR西日本不動産開発(株)や京都リサーチパーク(株)が運営を予定している拠点内アライアンス棟の事業についての紹介を通じて、ライフサイエンス分野への関心を高めていくことを目的とする。</p>			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	吹田市・摂津市内の製造(708社,441社)を中心に、専門・技術サービス(526社,65社)、情報通信(189社,11社)、医療・福祉関係(1263社,243社)の業種3,246社(カッコ内の前は吹田市、後は摂津市の民営事業所数、平成28年経済センサス調査)を主な対象として、健都への進出希望、アライアンス希望企業を掘り起こしていく。			
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	健都のまちづくりに対する地域企業の関心は高いが、ライフサイエンス分野以外の企業にとっては事業とのかかわりでは縁遠いものとなっており、それを啓発する取り組みから進めていく。自社の強みをライフサイエンス分野(医療機器開発、介護福祉機器開発、健康づくりのための食や運動等にかかわる分野への応用など)に活かさないかの発想を持ってもらうことからスタートする。			
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<ol style="list-style-type: none"> 吹田操車場跡地まちづくり説明会(摂津市商工会との共催、平成27年3月5日) JR岸辺駅北側一帯の医療クラスター形成に向けた開発動向等に関する説明会。98名参加。 北大阪健康医療都市・医療機器開発ビジネスセミナー(平成28年2月8日) 国立循環器病研究センターにおける医療機器開発の取り組みと今後の展開について紹介する。32名参加、個別相談6社。 健都イノベーションパーク開発セミナー(平成31年3月15日) 健都の医療クラスター構想を行政担当者から聞くとともに、フラッグシップ企業から進出計画の概要を聞く。終了後、現地見学会を開催。 国立循環器病研究センター、オープンイノベーションセンター見学会(令和元年10月23日) 国立循環器病研究センターオープンイノベーションセンターの取組説明と施設見学及び入居企業の事例紹介を行う。(参加者45名) 			
	反省点	健都のまちづくりに対する地域企業の関心は高くセミナー参加者は多い傾向にあるが、ライフサイエンス分野以外の企業にとっては事業とのかかわりでは縁遠いものとなっており、それを啓発する取り組みから進めていく必要がある。			
具体的な実施内容・手法 (該当型に○) いつどこで何をどのように	<input type="radio"/> 人材育成型	国立健康・栄養研究所から、健康づくりへの研究成果の紹介をいただくとともに、JR西日本不動産開発(株)や京都リサーチパーク(株)が運営を予定している拠点内アライアンス棟の事業についての紹介を行う。併せて国立循環器病研究センターの見学の機会をつくる。			
	<input type="radio"/> 人材交流型	開催時期:2020年秋頃予定 開催場所:国立循環器病研究センター施設内会場			
	<input type="radio"/> 販路開拓型	開催内容: ①JR西日本不動産開発(株)や京都リサーチパーク(株)による 産学連携拠点(アライアンス棟)の紹介			
	<input type="radio"/> ハンズオン型	②国立健康・栄養研究所の概要と産学連携事例の紹介			
	<input type="radio"/> 独自提案型	③北大阪健康医療都市進出企業の健康づくりへの取り組み事例紹介 等 ※今後、要調整			

事業名		北大阪健康医療都市・ライフサイエンス振興事業				新規/継続	継続
にするのかを明確に)	事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)	<input type="radio"/> (a)府施策連携	<input type="radio"/> (b)広域連携	<input type="radio"/> (c)市町村連携	<input type="radio"/> (d)相談事業相乗効果		
		・府施策連携商5番、商6番 大阪府、吹田市、摂津市の行政は、北大阪健康医療都市の開発に協同して取り組んでいる。本事業が深耕し企業間の個別マッチングにまで到れば、行政が直接関わる事が難しくなるため、立地場所を所管地域とする吹田商工会議所と摂津市商工会が広域連携事業として実施していく。					
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒	これまでの健都に関するセミナーの参加者数から計画。吹田商工会議所と摂津市商工会の会報での告知の他、経営指導員による巡回時PR。				
	支援対象企業の変化	成長産業としてのライフサイエンス分野(医療機器・医薬品産業、ヘルスケア産業)への関心を持ってもらい、自社の経営資源を活かし参入を検討する企業を増加させていくことを当初の目標とする。					
	その他目標値	指標	新事業としてライフサイエンス分野に参入を検討する企業数	数値目標	8社		
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価	支援企業数	係数	標準事業費		
		⇒ 20,200 円 ×	40	×	1.00 =	808,000	円
		円 ×		×	=		円
		円 ×		×	=		円
						(小計)	808,000 円
	※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)						円
						計	808,000 円
独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)							
算出額	①市町村等補助	円	交付市町村等				
	②受益者負担	円	負担金の積算				
	<input type="radio"/> (a)府施策連携	<input type="radio"/> (b)広域連携	<input type="radio"/> (c)市町村連携	<input type="radio"/> (d)相談事業相乗効果			
	標準事業費	補助率	(①市町村等+②受益者負担)				
808,000 円 ×		1.00 =	808,000 円	(円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額	役割(配分の考え方)			
	○	吹田商工会議所	565,600 円	吹田商工会議所において、国立循環器病研究センター、国立健康・栄養研究所、及び健都立地企業等と内容を詰めた上、実施準備を行う。参加事業者の掘り起こしは、吹田商工会議所(70%)と摂津市商工会(30%)にて分担する。			
		摂津市商工会	242,400 円				
			円				
			円				
		円					

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		北大阪健康医療都市・ライフサイエンス振興事業	新規/継続	継続
想定する実施期間		18 年度～ 年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>北大阪健康医療都市(通称:健都)のまちづくりは、平成30年11月に駅前の複合施設(VIERRA岸辺健都)の開業、同年12月に吹田市立吹田市民病院の移転開院、昨年7月には健都の中核となる国立循環器病研究センターの移転により本格的に稼働を始めた。今後は医療クラスター形成に向け、健康・医療関連企業の集積と地域企業にとってのビジネスチャンスの拡大を図るソフト面の取り組みの充実がより求められる。吹田商工会議所並びに摂津市商工会では、長期的な視点に立って、健都におけるライフサイエンス分野の振興への取り組みを進めていく。</p> <p>令和3年2月10日、国立循環器病研究センターと摂津市商工会、吹田商工会議所は連携協定を締結する。相互の人的、知的、物的資源の交流と活用を加速させるとともに、<u>医・商・工の連携を強化していく。今回は、連携協定を記念して「医・健康との連携による事業活性化」というタイトルで医療と工業との連携について、また、医・健康分野と商業・サービス業との連携について事例を元に講演会を行う。北大阪健康医療都市(通称:健都)のまちづくりを通じて医・健康分野との連携を促進することで、地域事業者の事業活性化及びライフサイエンス分野への関心を高めていくことを目的とする。</u></p>		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	吹田市・摂津市内の製造(708社,441社)を中心に、専門・技術サービス(526社,65社)、情報通信(189社,11社)、医療・福祉関係(1263社,243社)の業種3,246社(カッコ内の前は吹田市、後は摂津市の民営事業所数、平成28年経済センサス調査)を主な対象として、健都への進出希望、アライアンス希望企業を掘り起こしていく。		
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	健都のまちづくりに対する地域企業の関心は高いが、ライフサイエンス分野以外の企業にとっては事業とのかかわりでは縁遠いものとなっており、それを啓発する取り組みから進めていく。自社の強みをライフサイエンス分野(医療機器開発、介護福祉機器開発、健康づくりのための食や運動等)にかかわる分野への応用など)に活かさないかの発想を持ってもらうことからスタートする。		
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<ol style="list-style-type: none"> 吹田操車場跡地まちづくり説明会(摂津市商工会との共催、平成27年3月5日) JR岸辺駅北側一帯の医療クラスター形成に向けた開発動向等に関する説明会。98名参加。 北大阪健康医療都市・医療機器開発ビジネスセミナー(平成28年2月8日) 国立循環器病研究センターにおける医療機器開発の取り組みと今後の展開について紹介する。32名参加、個別相談6社。 健都イノベーションパーク開発セミナー(平成31年3月15日) 健都の医療クラスター構想を行政担当者から聞くとともに、フラッグシップ企業から進出計画の概要を聞く。終了後、現地見学会を開催。 国立循環器病研究センター、オープンイノベーションセンター見学会(令和元年10月23日) 国立循環器病研究センターオープンイノベーションセンターの取組説明と施設見学及び入居企業の事例紹介を行う。(参加者45名) 		
	反省点	健都のまちづくりに対する地域企業の関心は高くセミナー参加者は多い傾向にあるが、ライフサイエンス分野以外の企業にとっては事業とのかかわりでは縁遠いものとなっており、それを啓発する取り組みから進めていく必要がある。		
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつどこで何をどのようにするのかを明確に)	○ 人材育成型	<p>～連携協定記念講演～ <u>医・健康との連携による事業活性化</u></p>		
	人材交流型	<p>開催時期:令和3年2月26日(金)15:00～16:30 開催場所:国立循環器病研究センター 研究棟4階 サイエンスカフェ 現地会場30名、オンライン最大50名程度(オンラインはzoomでの開催を予定) ※現地会場での開催が出来なくなった場合は、オンラインのみでの開催を予定</p>		
	販路開拓型	開催内容:		
	ハンズオン型	<p>◇医療と工業の連携について (イノベーションカフェの活用・医からのニーズ)</p> <p>◇医・健康と商業・サービス業の連携について (くらしに活かす事例“かるしお・健康マンション”)</p>		
	独自提案型			

事業名		北大阪健康医療都市・ライフサイエンス振興事業				新規/継続	継続
事業手法 (該当する場合は○印と下欄にその根拠)		<input type="radio"/> (a)府施策連携	<input type="radio"/> (b)広域連携	<input type="radio"/> (c)市町村連携	<input type="radio"/> (d)相談事業相乗効果	・府施策連携商5番、商6番 大阪府、吹田市、摂津市の行政は、北大阪健康医療都市の開発に協同して取り組んでいる。本事業が深耕し企業間の個別マッチングにまで到れば、行政が直接関わる事が難しくなるため、立地場所を所管地域とする吹田商工会議所と摂津市商工会が広域連携事業として実施していく。	
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び募集方法⇒ 40	これまでの健都に関するセミナーの参加者数から計画。吹田商工会議所と摂津市商工会の会報での告知の他、経営指導員による巡回時PR。				
	支援対象企業の変化	成長産業としてのライフサイエンス分野(医療機器・医薬品産業、ヘルスケア産業)への関心を持ってもらい、自社の経営資源を活かし参入を検討する企業を増加させていくことを当初の目標とする。					
	その他目標値	指標	新事業としてライフサイエンス分野に参入を検討する企業数	数値目標	8社		
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	サービス単価	支援企業数	係数	標準事業費	
			20,200 円 ×	40	×	1.00 =	808,000 円
			円 ×		×	=	円
			円 ×		×	=	円
		(小計)					808,000 円
		※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)					円
	計					808,000 円	
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)						
算出額	①市町村等補助	円	交付市町村等				
	②受益者負担	円	負担金の積算				
	<input type="radio"/> (a)府施策連携	<input type="radio"/> (b)広域連携	<input type="radio"/> (c)市町村連携	<input type="radio"/> (d)相談事業相乗効果			
	標準事業費	補助率	(①市町村等+②受益者負担)				
	808,000 円 ×	1.00 =	808,000 円	(円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額	役割(配分の考え方)			
	○	吹田商工会議所	565,600 円	吹田商工会議所において、国立循環器病研究センターと内容を詰めた上、実施準備を行う。参加事業者の掘り起こしは、吹田商工会議所(70%)と摂津市商工会(30%)にて分担する。			
		摂津市商工会	242,400 円				
			円				
			円				
		円					

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

小規模事業経営支援事業 地域活性化事業 変更理由書

吹田商工会議所

事業名

北大阪健康医療都市・ライフサイエンス振興事業

計画に対する
実績（数値）

支援企業
数(計画)

40

支援企業
数(実績)

支援
実績率

0.0%

【参考】
参加者数

理 由

【変更の経過と理由】

現状の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、今後の当事業実施について実地開催が困難と判断される可能性も高いと考えられる。そのことから、講演会開催について実地開催とオンライン開催の両方で参加者を募集し、場合によってはオンライン開催のみへの変更を柔軟に行えるようにする。以上の変更により、事業実施可能性を高めることを理由とする。

また、開催内容や日程について国立循環器病研究センター及び摂津市商工会と協議。具体的に本年度行う内容が決まったことからそれに合わせ、「具体的な実施内容・手法」等を変更した。

【支援効果】

【今後の改善方策】

【経費内訳】